

第81回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 平成30年9月18日（火） 14:45～16:16

場 所 神戸大学本部 大会議室

出席者 武田議長（学長）、坂田委員、阪本委員、佐藤委員、寺島委員、森口委員、水谷委員、小川委員、藤田委員、杉村委員、井上委員、内田委員、藤井委員、加藤委員
（オブザーバー）外村監事、林監事、坂本副学長、品田副学長、吉井副学長、齋藤副学長、小田副学長

欠席者 天野委員、井戸委員、小林委員、高土委員、久元委員

議事要録について

第80回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 1 国立大学法人神戸大学職員の早期退職募集に関する規程の一部改正について
大学教員の早期退職募集について、対象年齢を満63歳から15年を減じた年齢以上とすること等に伴い、国立大学法人神戸大学職員の早期退職募集に関する規程を一部改正することについて説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 2 目的積立金の取崩計画について
目的積立金の取崩計画について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 3 神戸大学における授業料、入学料、検定料及び寄宿料の額に関する規程の一部改正について
学生宿舍、職員宿舍及び附属学校の機能移転及び集約化に向けた基本方針（平成30年1月23日付け役員会審議・学長決定）に基づき、国際交流会館（ユニット单身室）の寄宿料を新たに設定することに伴い、神戸大学における授業料、入学料、検定料及び寄宿料の額に関する規程を一部改正することについて説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 4 医学部附属国際がん医療・研究センターの経営等に係る調査委員会の調査結果に基づく対応及び経営計画改について
医学部附属国際がん医療・研究センターの経営等に係る調査委員会の調査結果に基づき、関係者の処分、附属病院の新スキーム概要、経営計画立案方法の見直し及びガバナンス体制再構築等について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
 - 現在、相手方企業との関係は悪化していないか？
 - 引き続き共同研究の実施及び寄附講座の設置等、本学の教育研究に協力いただいている。
 - 問題の原因は、相手方企業と附属病院間での経費の使用目的等について、認識の相違があったためと思われるが、そのことが何故、全体のガバナンスの問題となるのか？

→ 相手方企業からの支援が寄附から共同研究に変更される過程で、ICCRCの運営計画の再考・見直しが見直しができた機会が何度かあったにもかかわらず、慎重な議論を重ね、双方合意事項を公的文書にまとめ、合意事項に基づいた運営計画をもって開設に至るというプロセスが進められなかったことは、大きな問題であったと認識している。また、理事懇談会及び役員会も、契約書・覚書等の存在や運営計画の具体性・実現性等のチェックについて問題があったと反省しており、そのため全体のガバナンスの問題ととらえ改善に努めたいと考えている。

○ 損益及び収支の予測を見る限り、国際がん医療・研究センターは平成33年度まで赤字の見通しとなっているが、手術予定件数等、計画の実現性は如何か？

→ 附属病院及び国際がん医療・研究センターの損益状況と今後の見通しについては、毎月、役員懇談会において進捗状況を報告の上、内容の確認を行っているが、4月から7月迄の実績については概ね計画通り進んでいる。また、経営計画の策定にあたっては、事前に病院経営の専門家である本学教員が内容の確認を行っている。

報告事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

1 平成30年 人事院勧告について
平成30年の人事院勧告の概要及び本学における対応案について報告があった。

2 平成31年度 概算要求の概要について
平成31年度の概算要求の概要について報告があった。

○ 運営費交付金の平成31年度要求・要望額は前年度より増加しているのか？

→ 仮に、国立大学の総額を一括計上した袋要求分が、今年度予算額と同額であれば増加となる。ただし、この袋要求分のうち神戸大学分がいくらかになるのか、また、袋要求分全体の額についても、今後行われる財務省の有識者会議等で検討されることとなるため、現時点では額は未定である。

○ 機能強化促進係数に基づき吸い上げられた経費は、その後、自由に使える運営費交付金として再配分されるのか？

→ 大学が重点的に取り組むプロジェクトに対して機能強化促進費として再配分されるが、使用目的はプロジェクトに限定されたものとなる。

また、この機能強化促進費については、平成30年度の94億円に対し、平成31年度は379億円に増加する見通しである。これは、国立大学法人に配分される全予算（約1兆1千億円）に比して、機能強化促進費が少なすぎると考える内閣府及び財務省の意向が反映したものである。

なお、国立大学法人に配分される予算については、見かけ上の削減は止まっているが、内訳として目的型の経費が増加しており、各国立大学の裁量で使用できる経費の減少は止まっていない。

- 3 医学部附属国際がん医療・研究センターの経営等に係る調査委員会の調査結果について
医学部附属国際がん医療・研究センターの経営等に係る調査委員会の調査結果について報告があった。
 - 4 神戸大学に係る報道等の紹介について
神戸大学の活動が取り上げられた新聞記事について報告があった。
 - 5 その他
 - ① 神戸大学マスコットキャラクター「神大うりぼー」について説明があった。
 - ② 神戸大学基金の趣意書の概要について説明があった。
- ◎ 次回は、平成30年11月19日に開催予定。